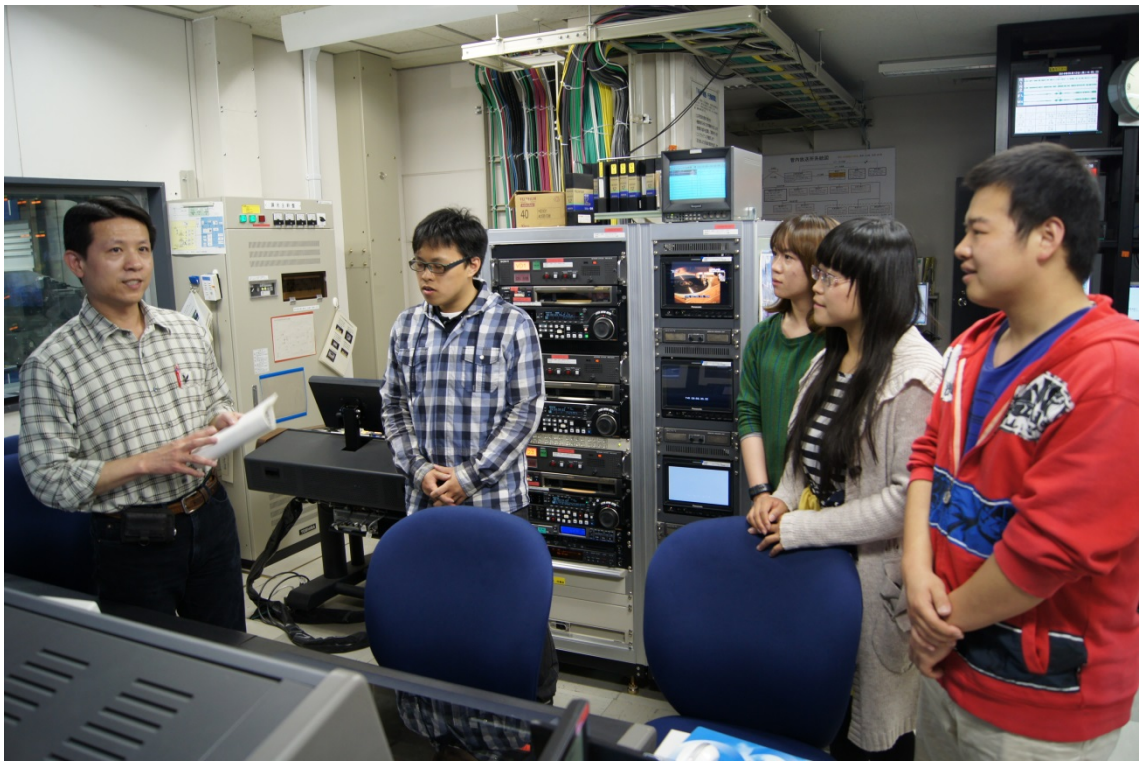
③では、現在 NHK 北見放送局で毎日使用しているニューススタジオと副調整室を見させていただきました。そこでは、偶然にも台湾人の職員が仕事に携わっており、日本語のほか中国語も介して説明を行っていただきました。

現在、北見からの放送は、短い放送が主体で、その他は全中（東京・本部から）が 9 割、管中（札幌放送局・拠点局）から 1 割とのことでした。北見放送局制作番組は、「つながる＠オホーツク」＜総合＞月～金曜日、午前 11：50～11:54 で、お昼前の生活・文化情報番組として気軽に楽しめる番組になっているとのことでした。また、番組を伝える手法も以前の大人数とは異なり、デジタル放送移行後は、カメラも自動制御で行われ、以前は、7 人位で番組を担当していたものが、今では極端な話、一人でも行えるとのことでした。その際には、あらかじめニュースの台本をパソコンで作っておき、放送時間にその流れ通り放送するということでした。NHK においても、業務の効率化が図られていることを実感できました。

この場で、留学生たちは実際にキャスター席に座らせてもらい、マイクをつけ、原稿をみながら放送する実践もさせていただきました。一瞬ではありましたが、表情が引き締まり、キャスターらしさを感じられたところもありました。

副調整室（2F）



ニューススタジオ（2F）

ニューススタジオ（2F）